



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アドウェイズ

コード番号 2489 URL <http://www.adways.net/>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 岡村 陽久

問合せ先責任者 (役職名) 管理担当上席執行役員

(氏名) 田中 庸一

TEL 03-5339-7122

四半期報告書提出予定日 平成25年8月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト・報道機関向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	6,839	52.8	39	△19.9	△8	△110.2	△18	△190.7
25年3月期第1四半期	4,476	7.5	49	△69.8	84	△50.5	20	△78.6

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 82百万円 (△60.8%) 25年3月期第1四半期 210百万円 (121.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△254.11	—
25年3月期第1四半期	252.02	247.42

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
26年3月期第1四半期	8,962		4,936		54.7	68,081.90		
25年3月期	9,024		4,843		53.4	66,936.25		

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 4,898百万円 25年3月期 4,816百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—				
26年3月期(予想)		—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、中長期的な企業価値の向上に努め、株主に対する利益還元を行うことを経営の重要な課題の一つと認識しており、財務体質の強化及び事業展開に備えるための内部留保の充実を中心に据えながら、その業績並びに業績の見通しに応じた利益配分に努めることを基本方針としております。現時点での平成26年3月期の配当予想につきましては、経営環境の先行きが不透明であることから未定とさせていただきます。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	28,500	25.9	450	8.8	400	△6.9	240	△21.1	6.59

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

1株当たり当期純利益については、平成25年10月1日付で当社普通株式1株につき500株の割合をもって株式分割を行うことをふまえ、分割後の株式数を基準として算出しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	79,975 株	25年3月期	79,970 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	8,018 株	25年3月期	8,018 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	71,954 株	25年3月期1Q	79,970 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

本資料は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、本資料の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料P. 1「平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)」に記載のとおり、平成26年3月期の連結業績予想及び本資料に含まれる将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後の様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、本資料P. 5「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会の開催日及び決算説明資料の入手方法)

機関投資家・証券アナリスト・報道機関向け決算説明会は、本資料を開示した同日に開催する予定であります。また、決算説明会で配布する資料は、開催日同日に当社ホームページ(<http://ir.adways.net/>)にて開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更	5
(3) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(4) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	6
4. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日)の当社グループにおける連結業績は以下のとおり、前年同期に対して売上高は増収、営業利益、経常損益、四半期純損益は減益となりました。

[連結業績]

(単位:千円、端数切捨て)

	前年第1四半期 (平成25年3月期)	当第1四半期 (平成26年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	4,476,720	6,839,310	2,362,589 (52.8%)
営業利益	49,030	39,277	△9,752 (△19.9%)
経常利益 又は損失(△)	84,984	△8,698	△93,682 (△110.2%)
四半期純利益 又は損失(△)	20,154	△18,284	△38,438 (△190.7%)

売上高は、国内の広告事業が順調に推移したことにより2,362,589千円増加し、6,839,310千円(前年同期比52.8%増)となりました。

営業利益は、当第1四半期連結累計期間の4月に新卒社員が入社したことによる人件費の増加及び本社オフィスの増床に伴う賃料の増加により販売費及び一般管理費が増加した結果、9,752千円減少し、39,277千円(前年同期比19.9%減)となりました。

経常損益は、円安による為替差損55,952千円の発生等により93,862千円減少し、△8,698千円(前年同期は84,984千円の経常利益)となりました。

四半期純損益は、保有株式の売却により投資有価証券売却益を63,319千円計上したものの、法人税等を72,183千円計上したことにより38,438千円減少し、△18,284千円(前年同期は20,154千円の四半期純利益)となりました。

[報告セグメント別業績]

①広告事業

(単位:千円、端数切捨て)

	前第1四半期 (平成25年3月期)	当第1四半期 (平成26年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	3,686,071	5,988,549	2,302,478 (62.5%)
(外部売上高)	3,601,841	5,971,618	2,369,776 (65.8%)
(セグメント間売上高)	84,230	16,931	△67,298 (△79.9%)
セグメント利益	303,574	591,803	288,228 (94.9%)

内訳:外部売上高(広告事業)

(単位:千円、端数切捨て)

	前第1四半期 (平成25年3月期)	当第1四半期 (平成26年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
スマートフォン向け広告	719,924	2,315,230	1,595,305 (221.6%)
フィーチャーフォン向け広告	1,647,879	823,380	△824,498 (△50.0%)
モバイル向け広告計	2,367,804	3,138,611	770,806 (32.6%)
PC向け広告	1,234,036	2,833,007	1,598,970 (129.6%)

広告事業は、スマートフォンアプリ向け広告「AppDriver」やフィーチャーフォン向けアフィリエイト広告「Smart-C」などのモバイル向け広告とPC向けアフィリエイト広告「JANet」を中心に、インターネット上で事業展開を行う企業に対して、インターネット広告を総合的に提供しております。

当第1四半期連結累計期間における広告事業のモバイル向け広告は、モバイル端末利用者のフィーチャーフォンからスマートフォンへの移行の影響により、広告主のフィーチャーフォン向け広告の出稿意欲は低下しております。一方でスマートフォン向け広告は、広告主の広告出稿意欲が高く、それに加え、アプリなどの広告掲載媒体数が増加していることから売上高が大幅に伸長したことにより、モバイル向け広告の売上高は3,138,611千円（前年同期比32.6%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間における広告事業のPC向け広告は、金融関連企業を中心に取引が拡大したことにより売上高は2,833,007千円（前年同期比129.6%増）となりました。

この結果、広告事業の売上高は5,971,618千円（前年同期比65.8%増）、営業費用は新卒社員の入社に伴い人件費等が増加したものの、セグメント利益は591,803千円（前年同期比94.9%増）となりました。

②アプリ・メディア事業

（単位：千円、端数切捨て）

	前第1四半期 (平成25年3月期)	当第1四半期 (平成26年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	498,759	494,790	△3,969 (△0.8%)
(外部売上高)	487,298	458,042	△29,255 (△6.0%)
(セグメント間売上高)	11,461	36,747	25,286 (220.6%)
セグメント利益又は損失(△)	81,774	△115,592	△197,367 (-)

内訳：外部売上高（アプリ・メディア事業）

（単位：千円、端数切捨て）

	前第1四半期 (平成25年3月期)	当第1四半期 (平成26年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
アプリ事業	300,570	196,952	△103,617 (△34.5%)
メディア事業	186,728	261,089	74,361 (39.8%)

アプリ・メディア事業は、連結子会社である愛徳威軟件開発（上海）有限公司と株式会社ラビオンソーシャルにおいてスマートフォンアプリの開発・運営、連結子会社である株式会社サムライ・アドウェイズにおいてメディアの運営等を行っております。

当第1四半期連結累計期間におけるアプリ事業は、平成24年3月期の上半期にリリースした「カイブツクロニクル」、「小悪魔キャバ嬢らいふ」や「煙に巻いたらさようなら。」等の既存のタイトルに続くヒット作を生み出すために「魔女大戦クロニクル」等の自社タイトルのゲーム開発に注力してきました。しかしながら、有力なゲーム会社の参入等により売上高は196,952千円（前年同期比34.5%減）となりました。

今後は、自社タイトルだけでなく、大手ゲーム会社と共同でアプリ制作を行う協業事業や当社が海外の有力アプリの翻訳などを行い、日本国内に日本版の海外の有力アプリをリリースするパブリッシング事業を軸にアプリ事業の売上高の安定化を図ります。

当第1四半期連結累計期間におけるメディア事業は、主にサムライ・アドウェイズにおいて行っているメディア事業において広告主数が増加したことにより、売上高は261,089千円（前年同期比39.8%増）となりました。

この結果、アプリ・メディア事業の売上高は458,042千円（前年同期比6.0%減）、セグメント損失は115,592千円（前年同期は81,774千円の利益）となりました。

③海外事業

(単位：千円、端数切捨て)

	前第1四半期 (平成25年3月期)	当第1四半期 (平成26年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	386,989	468,623	81,633 (21.1%)
(外部売上高)	382,638	409,582	26,944 (7.0%)
(セグメント間売上高)	4,351	59,040	54,689 (-)
セグメント損失(△)	△59,250	△109,548	△50,297 (-)

海外事業は、中国・台湾・韓国・米国において、現地企業と各国における外国企業を対象として、インターネットマーケティングの総合支援サービスを提供しております。

当第1四半期連結累計期間における海外事業は、平成24年4月に提供を開始したスマートフォンアプリ向け広告「AppDriver」の中国版「AppDriver China」の売上高の増加に加え、平成24年10月に設立した韓国子会社において、日系企業への韓国現地における広告出稿の営業を強化したことにより、前年同期比で売上高は増加いたしました。一方、海外赴任者の増加に伴い営業費用が増加したため、セグメント損失は増加しております。

この結果、海外事業の売上高は409,582千円(前年同期比7.0%増)、セグメント損失は109,548千円(前年同期は59,250千円の損失)となりました。

※セグメント間売上高の対前年同期増減率は、増加率が1,000%以上のため表記しておりません。

④その他

(単位：千円、端数切捨て)

	前第1四半期 (平成25年3月期)	当第1四半期 (平成26年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	10,427	4,502	△5,924 (△56.8%)
(外部売上高)	4,942	67	△4,875 (△98.6%)
(セグメント間売上高)	5,484	4,435	△1,048 (△19.1%)
セグメント損失(△)	△32,229	△38,959	△6,729 (-)

その他は、日本及び海外における新規事業等により構成されております。

当第1四半期連結累計期間におけるその他は、新規事業の立ち上がりが芳しくなく売上高は67千円(前年同期比98.6%減)と減少し、セグメント損失は38,959千円(前年同期は32,229千円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：千円、端数切捨て)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期 (平成25年6月30日)	対前年同期増減額 (増減率)
資 産 合 計	9,024,689	8,962,019	△62,669 (△0.7%)
負 債 合 計	4,180,723	4,025,348	△155,375 (△3.7%)
純 資 産 合 計	4,843,965	4,936,671	92,705 (1.9%)

[資産合計]

- ・流動資産が前連結会計年度末より129,523千円減少し7,680,003千円となりました。主な減少要因は現金及び預金が69,370千円減少したこと、及び受取手形及び売掛金が57,813千円減少したことによるものであります。
- ・固定資産が前連結会計年度末より66,853千円増加し1,282,015千円となりました。主な増加要因は有形固定資産に含まれる工具器具及び備品が純額で27,446千円増加したこと及び無形固定資産のその他に含まれるソフトウェアが31,926千円増加したことによるものであります。

[負債合計]

- ・流動負債は前連結会計年度末より162,937千円減少し3,974,421千円となりました。主な減少要因は、支払手形及び買掛金が232,379千円減少したことによるものであります。
- ・固定負債は前連結会計年度末より7,562千円増加し50,926千円となりました。主な増加要因は、その他に含まれる資産除去債務が5,717千円増加したことによるものであります。

[純資産合計]

- ・前連結会計年度末より92,705千円増加し4,936,671千円となりました。主な増加要因は、利益剰余金が18,284千円減少したものの、為替換算調整勘定が93,900千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループが事業展開を行うインターネット・モバイル関連業界は、スマートフォンの急速な普及に伴う市場の拡大やスマートフォン・タブレット端末をはじめとするインターネット利用端末の多様化などを受け、今後も順調に拡大することが予測されております。これらの傾向は国内だけでなく、海外においても顕著であり、中国をはじめとするアジア諸国においてインターネット関連市場は急速に拡大しております。

当社グループは、これらの拡大が見込まれるスマートフォン関連事業及び海外事業に積極的に注力し、当連結会計年度は事業をさらに成長させ、次期以降の収益力の向上をめざしてまいります。

以上より、平成26年3月期の業績見通しにつきましては、売上高28,500百万円(前期比25.9%増)、営業利益450百万円(前期比8.8%増)、経常利益400百万円(前期比6.9%減)、当期純利益240百万円(前期比21.1%減)を見込んでおります。

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更

①連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、株式会社アドウェイズ・スタジオ、株式会社サムライベイビー及び亜堂科技(上海)有限公司を新規設立したことに伴い、連結の範囲に含めております。

②持分法適用の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、ライブエイド株式会社の株式を新たに取得したことに伴い、持分法適用の範囲に含めております。

(3) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(4) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,982,171	3,912,801
受取手形及び売掛金	3,550,165	3,492,352
たな卸資産	6,184	6,830
その他	306,248	295,706
貸倒引当金	△35,243	△27,687
流動資産合計	7,809,526	7,680,003
固定資産		
有形固定資産	141,492	169,347
無形固定資産		
のれん	86,272	81,063
その他	39,242	71,999
無形固定資産合計	125,514	153,062
投資その他の資産		
その他	983,299	992,414
貸倒引当金	△35,144	△32,809
投資その他の資産合計	948,154	959,605
固定資産合計	1,215,162	1,282,015
資産合計	9,024,689	8,962,019
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,310,044	3,077,665
未払法人税等	152,914	80,451
その他	674,399	816,305
流動負債合計	4,137,359	3,974,421
固定負債		
その他	43,364	50,926
固定負債合計	43,364	50,926
負債合計	4,180,723	4,025,348
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,479,142	1,479,217
資本剰余金	1,664,201	1,664,276
利益剰余金	1,996,509	1,978,224
自己株式	△508,065	△508,065
株主資本合計	4,631,787	4,613,653
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	95,652	102,658
為替換算調整勘定	88,757	182,657
その他の包括利益累計額合計	184,409	285,316
新株予約権	8,888	18,722
少数株主持分	18,880	18,979
純資産合計	4,843,965	4,936,671
負債純資産合計	9,024,689	8,962,019

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	4,476,720	6,839,310
売上原価	3,634,257	5,656,902
売上総利益	842,463	1,182,407
販売費及び一般管理費	793,432	1,143,129
営業利益	49,030	39,277
営業外収益		
外国税還付金	52,471	4,929
その他	3,635	5,484
営業外収益合計	56,106	10,414
営業外費用		
為替差損	12,520	55,952
開業費償却	5,303	—
その他	2,328	2,438
営業外費用合計	20,152	58,390
経常利益又は経常損失(△)	84,984	△8,698
特別利益		
投資有価証券売却益	—	63,319
関係会社株式売却益	35,540	—
特別利益合計	35,540	63,319
特別損失		
固定資産売却損	63	—
投資有価証券評価損	8,604	622
減損損失	28,593	—
特別損失合計	37,261	622
税金等調整前四半期純利益	83,263	53,998
法人税、住民税及び事業税	32,460	67,995
法人税等調整額	29,477	4,187
法人税等合計	61,938	72,183
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	21,325	△18,185
少数株主利益	1,171	99
四半期純利益又は四半期純損失(△)	20,154	△18,284

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	21,325	△18,185
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	124,664	7,006
為替換算調整勘定	64,820	93,900
その他の包括利益合計	189,484	100,906
四半期包括利益	210,810	82,721
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	209,639	81,652
少数株主に係る四半期包括利益	1,171	1,068

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	広告事業	アプリ・ メディア 事業	海外事業	計				
売上高								
外部顧客に 対する売上高	3,601,841	487,298	382,638	4,471,777	4,942	4,476,720	—	4,476,720
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	84,230	11,461	4,351	100,042	5,484	105,527	△105,527	—
計	3,686,071	498,759	386,989	4,571,820	10,427	4,582,247	△105,527	4,476,720
セグメント利 益又は損失 (△)	303,574	81,774	△59,250	326,099	△32,229	293,869	△244,839	49,030

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△244,839千円には、主にセグメント間取引消去△105,527千円、報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用350,366千円を含んでおります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「アプリ・メディア事業」セグメントにおいて、のれんに係る減損損失を特別損失に28,593千円計上しております。当該のれんの減少額は、連結子会社株式の減損処理に伴って、のれんを一括償却したものであります。

(のれんの金額の重要な変動)

「海外事業」セグメントにおいて、JS ADWAYS MEDIA INC.の子会社化に伴い、のれんが増加しております。当該のれんの増加額は、前第1四半期連結累計期間において78,851千円であります。

「アプリ・メディア事業」セグメントにおいて、株式会社アドウェイズ・エンタテインメントの連結除外に伴い、のれんが減少しております。当該のれんの減少額は、前第1四半期連結累計期間において44,126千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	広告事業	アプリ・ メディア 事業	海外事業	計				
売上高								
外部顧客に 対する売上高	5,971,618	458,042	409,582	6,839,242	67	6,839,310	—	6,839,310
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	16,931	36,747	59,040	112,720	4,435	117,155	△117,155	—
計	5,988,549	494,790	468,623	6,951,962	4,502	6,956,465	△117,155	6,839,310
セグメント利 益又は損失 (△)	591,803	△115,592	△109,548	366,662	△38,959	327,703	△288,425	39,277

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△288,425千円には、主にセグメント間取引消去△44,465千円、報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用243,959千円を含んでおります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象等)

1. 株式分割について

平成25年7月31日開催の当社取締役会の決議に基づき、平成25年10月1日をもって、次のように株式分割による新株式を発行いたします。

(1) 分割の方法

平成25年9月30日(月)をもって、最終の株主名簿に記載された株主の所有普通株式1株につき、500株の割合をもって分割いたします。

(2) 分割により増加する株式数

- ①株式分割前の発行済株式総数 80,915株
- ②今回の分割により増加する株式数 40,376,585株
- ③株式分割後の発行済株式総数 40,457,500株
- ④株式分割後の発行可能株式総数 153,150,000株

(3) 分割の日程

- ①基準日公告日 平成25年9月13日
- ②基準日 平成25年9月30日
- ③効力発生日 平成25年10月1日

2. 単元株制度の採用

(1) 新設する単元株式の数

「1. 株式分割について」の効力発生日をもって単元株制度を採用し、単元株式数を100株といたします。

(2) 新設の日程

効力発生日 平成25年10月1日

(ご参考) 株式の分割及び単元株式数の変更に伴い、平成25年9月26日をもって、東京証券取引所における当社株式の売買単位が1株から100株に変更され株価表示も変更されます。

3. 定款の一部変更

(1) 変更の理由

「1. 株式分割について」及び「2. 単元株制度の採用」に伴い、会社法第184条第2項及び第191条の規定に基づき、当社定款の一部を変更いたします。

(2) 変更の内容

- ①発行可能株式数を株式の分割の割合に応じて増加させるため、現行第6条(発行可能株式総数)を変更いたします。
- ②株式の分割と同時に単元株制度を採用し単元株式数を100株とする、第7条(単元株式数)を新設いたします。
- ③第7条の新設に伴い、条数を変更いたします。
- ④第6条の変更及び第7条の新設並びにこれに伴う条数の変更の効力発生日を定めるため、附則を新設いたします。

現行定款	変更後
<p>(発行可能株式総数)</p> <p>第6条 当社の発行可能株式総数は、<u>306,300株</u>とする。</p> <p style="text-align: right;">(新設)</p> <p>第7条～第46条(条文省略)</p> <p style="text-align: right;">(新設)</p>	<p>(発行可能株式総数)</p> <p>第6条 当社の発行可能株式総数は、<u>153,150,000株</u>とする。</p> <p style="text-align: center;"><u>(単元株式数)</u></p> <p>第7条 <u>当社の単元株式数は、100株とする。</u></p> <p>第8条～第47条(現行通り)</p> <p>附則 <u>本定款の効力発生日は平成25年10月1日とし、本附則は平成25年10月2日をもって削除する。</u></p>

(3) 変更の日程

効力発生日 平成25年10月1日

(ご参考)

①今回の株式の分割に際し、当社の資本金の額の増減はございません。

平成25年7月31日現在の当社の資本金の額：1,485,195,400円

②株式の分割及び単元株式数の変更に伴い、平成25年9月26日をもって、東京証券取引所における当社株式の売買単位が1株から100株に変更され株価表示も変更されます。